

区分	社会福祉法人福寿会 職場環境改善の取組内容	
入職促進に向けた取組	✓	① 法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化
	✓	② 事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築
	✓	③ 他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（他産業からの転職者の実績あり、5年後介護福祉士取得）
	✓	④ 職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	✓	⑤ 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援を実施、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する認知症実践者研修受講する制度があり、受講費用は法人負担・受講期間は業務扱いにて研修を実施
	✓	⑥ WEBにて毎月、全職員が研修受講（個人携帯や業務用 CP・タブレット）で隙間時間に研修を受講する制度の構築
	✓	⑦ エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入（入職者3カ月間の担当サポート体制を実施）
	✓	⑧ 上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保
両立支援・多様な働き方の推進	✓	⑨ 子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実。
	✓	⑩ 入職時に職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の説明を実施。職員の希望に即した非正規職員から正規職員へ登用制度の説明を実施
	✓	⑪ 有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、最低月1回の取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、上長からの積極的な声かけを行っている
	✓	⑫ 有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている
腰痛を含む心身の健康管理	✓	⑬ 上長が業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口となり、相談体制の充実
	✓	⑭ パート職員も健康診断・予防接種・ストレスチェックの実施、職員のための休憩室の設置があり健康管理対策の実施。
	✓	⑮ 職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施
	✓	⑯ 事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備
生産性向上のための取組	✓	⑰ 厚生労働省の「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築（委員会の立ち上げ、外部の研修会の活用等）を実施
	✓	⑱ 現場の課題の見える化（定期的に課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査等）の実施
	✓	⑲ 5S 活動（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を実施し、設備担当者による巡回を行い職場環境の改善
	✓	⑳ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫による情報共有や作業負担の軽減を実施
	✓	㉑ 介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、タブレット端末、スマートフォン端末の導入済
	✓	㉒ 介護ロボット（眠りスキャン、睡眠・覚醒・起上がり・離床を情報端末への転送支援、呼吸・心拍等の生体監視情報の自動記録・入浴支援、）インカムで職員間の連絡調整の迅速化を行い職員の業務負担軽減
	✓	㉓ 業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備して、看護・理学・歯科等の専門職を多数配置、また間接業務（食事等の準備や片付け、清掃、ヘアメイク、ゴミ捨て等）は、介護助手を主とし、衣類等の洗濯専門スタッフも配置
	✓	㉔ 各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の事務処理部門の集約を実施している、共同で行う ICT インフラの整備、人事管理システムや福利厚生等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組の実施している
やりがい・働きがいの醸成	✓	㉕ ミーティングによる職場内コミュニケーションの円滑化による個々の職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善会議の実施
	✓	㉖ 地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の老人会・児童・生徒や住民・ボランティア団体との交流を実施。その他、地域清掃活動への参加
	✓	㉗ 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
	✓	㉘ ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有するため回覧を実施